

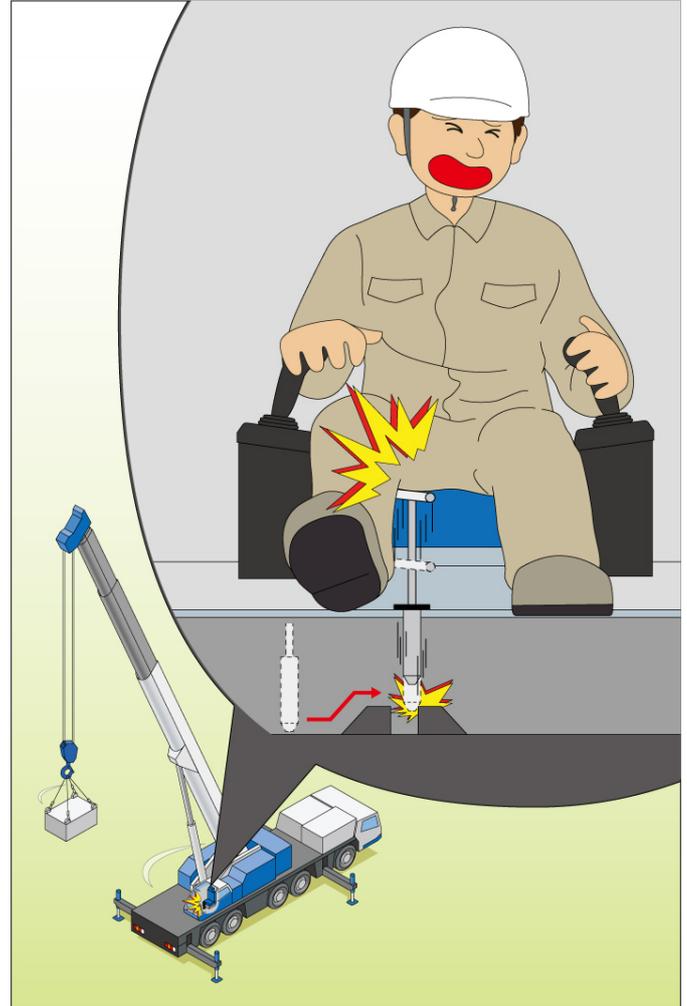
事故事例

旋回ロックピン跳ね上がりによる人身事故

オールテレーンクレーン

事故発生状況

旋回操作中、旋回ロックピンとロックピン挿入サポートが干渉し、ロックピンが跳ね上がった。その際、ロックピンのハンドルが運転者の足に当たり骨折した。



原因

旋回ロックピンを抜いた際に固定が確実にできていなかったため、ロックピンが下がり、それに気付かず旋回操作をしてしまった。

対策

旋回ロックピンの解除は、ロックピンを最後まで引き上げ、ハンドルが止まるまで回転させ、確実に固定位置に格納されていることを確認する。

⚠ 注意

旋回操作をしながらの旋回ロックピンの抜き差しは、ケガや機械を損傷させるおそれがあり大変危険です。

旋回ロックピンの解除

- ①最後まで引き抜く
- ②ハンドルが止まるまで右に回転

